
携帯端末を利用した 避難誘導

荒川下流における携帯端末を用いた洪水避難訓練の概要

【ハザードマップ取得画面】

◇目的：身近な携帯端末を活用した洪水ハザードマップ情報の提供が有用なものかどうかを住民の方に避難訓練を通じてモニターしていただき、合わせてアンケート調査を行い、今後の課題等の抽出を行う。

◇主催：関東地方整備局 荒川下流河川事務所

◇対象地域：東京都板橋区

(荒川右岸、坂下・東坂下地区周辺(長後町会))

◇避難訓練実施経緯

→参加申込書を各戸に配布

→事前説明会の実施(H20.2.15)

→避難訓練の実施

(H20.2.24(日)午前10~12時)

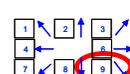
◇参加者人数：37人

(一般参加者33名、災害情報学会4名)

選択した地区の初期マップを表示



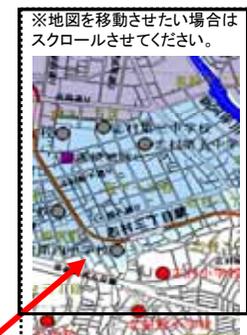
坂下三丁目周辺(荒川版)



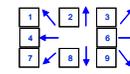
※ハザードマップを保存するにはメニューボタンより画像保存を選択ください。

【】凡例情報
【O】TOP画面へ

初期マップの1/3ずらして隣接マップを表示



坂下三丁目周辺(荒川版)



※ハザードマップを保存するにはメニューボタンより画像保存を選択ください。

【】凡例情報
【O】TOP画面へ

携帯端末のメモリまたはメモ리카ードに保存

自宅や避難所が見にくい場合は、スクロールキーで隣接マップを選択

携帯端末版一般向け「川の防災情報」における画面遷移イメージ

◇避難訓練の流れ

* 10:00頃:

事務所より参加者にメールを送信し、訓練開始。

* 10:00~10:15:

参加者が洪水ハザードマップ確認後、避難開始。

* 10:15~12:00:

参加者が最寄の避難所まで徒歩で移動。避難所でアンケートを記入し、避難訓練完了。



避難所におけるアンケート回答の様子